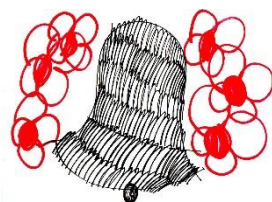


# 第4回介助つきコミュニケーション研究会

平成 29 年 11 月 18 日土曜日 午後 1 時～4 時 30 分

國學院大學横浜たまプラーザキャンパス 411 教室



介助つきコミュニケーションとは、手を添えるなどの介助を通して初めて可能になるコミュニケーションの方法のことです。代表的なものは、介助者に手を添えられて文字を書く方法（筆談）と介助者に手を添えられて文字盤を指さす方法、介助者の「あかさたな…」という声に合図を送って文字を選んでいく方法です。

すでに多くの人々がこれらの方法で意思の表現が可能になっており、そのことによって当事者の生活は大きな変化を見せています。

この研究会は、このことを広く世の中に伝えていくことを目的として平成 28 年 4 月より開催しています。

第 4 回目の研究会では、当事者の側からの報告と、筆談ができるようになった学生からの報告、及び、介助つきコミュニケーションに取り組んでいる現場からの報告をもとに、し議論を深めたいと考えています。

この研究会は、当事者の会である「きんこんの会」の取り組みをもとにして生まれたもので、コミュニケーションの援助をする側と当事者とが対等の立場で参加することを大切にしています。

## プログラム

1. 開会式
2. 介助つきコミュニケーションの実践報告
  - ① 学生による介助つきコミュニケーションの実践
  - ② 施設からの介助つきコミュニケーションの報告
  - ③ きんこんの会のメンバーからの報告
  - ④ 「敏上（びんじょう）の会」（栃木県）からの報告
3. 閉会式

問い合わせ先：〒225-0003 横浜市青葉区新石川 3-22-1 國學院大學人間開発学部 柴田保之

ご参加希望の方は、下記のメールアドレスに、お名前とご所属、お住いの都道府県を添えてお申し込みください。なお、参加者の概数を把握するためのものですので、お申し込みがなくても当日の参加は可能です。研究会参加費は無料です。

介助つきコミュニケーションや当事者の思いに関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。

連絡用メールアドレス [kinkon@hope.zaq.jp](mailto:kinkon@hope.zaq.jp)

問い合わせ先：〒225-0003 横浜市青葉区新石川 3-22-1 國學院大學人間開発学部 柴田保之